

病院だより 4月号 昭和医科大学横浜市北部病院

2025年4月1日 発行

通算 第202号

巻頭言 ー新年度のご挨拶ー



＜整形外科＞

川崎 恵吉 副院長

春の訪れとともに、桜の美しい季節がやってまいりました。今年の冬は例年ない気温の変動が続き、体調管理が難しい日々でしたが、新たな年度を迎えるにあたり、気持ちも新たに歩みを進めていきたいと思います。当院も多く新しい職員を迎え、新体制での診療がスタートいたしました。また、「昭和大学」の名称が「昭和医科大学」へと変更され、新たな歴史を刻むこととなります。新年度を迎えるにあたり、医療の発展とともに、患者さんに寄り添う医療を提供できるよう、職員一同、引き続き精進してまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。当院の整形外科には、手外科、脊椎外科、関節外科、スポーツ整形、小児整形、骨軟部腫瘍、関節リウマチなど、多岐にわたる専門分野が存在します。私はその中で手外科を専門としており、手指や手関節に関する外傷や変性疾患、関節リウマチなどの診療・手術を行っています。近年、手外科をテーマにした漫画（「テノゲカ」：少年サンデー）が週刊誌に掲載されるなど、手外科の分野が注目を集めています。

当院の手外科では、1.0mm以下の血管や神経を縫合する顕微鏡手術や、1.9mmのカメラを用いた関節鏡手術など、高度な技術を要する治療が日々行われています。また、手の疾患として近年注目されているのが、更年期以降の女性に多く見られる「メノポーザルハンド（メノポハンド）」です。これは、閉経前後のエストロゲン（女性ホルモン）減少に伴い、手指の痛みやしびれ、こわばりなどが生じる状態を指します。特に「ヘバーデン結節」と呼ばれる指の第一関節の変形性関節症は、70歳を超えるとほぼすべての人に関節症変化がみられると言われていますが、痛みを伴う患者さんは1割程度であり、その多くが女性です。

治療法の一つとして注目されているのが、「エクオール」という成分です。大豆を摂取すると、腸内細菌によってエクオールが生成されますが、日本人の50%以上はエクオールの産生能力が低いとされています。当科の調査でも、受診患者の約80%が低産生能であることが分かっています。そのため、エクオールをサプリメントとして摂取することが推奨されており、当科および他施設のデータでは、50~80%の患者さんに症状の改善が認められています。「今日の治療指針」¹にもその有用性が記載されており、一定の効果が期待されています。エクオールが効果を示さない場合には、漢方治療や指のギプス固定、必要に応じて婦人科と連携したホルモン補充療法を行うこともあります。手術が必要となるケースはごくわずかですが、従来「加齢によるもの」とされ、治療法がないとされてきた疾患に対して、新たなアプローチが確立されつつあります。手指の不調にお悩みの方は、ぜひ一度、手外科専門医への受診をお勧めします。

最後に、本年は寒波による大雪や乾燥による山火事など、多くの自然災害が発生し、多くの方が被害を受けられました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

¹福井 次矢、高木 誠、小室 一成（2023年）



P1 【巻頭言】新年度のご挨拶

P2 【医学講座コーナー】春期市民公開講座に向けて
～肺がん治療の進歩について～

P3 【お知らせ】患者満足度調査を実施しました

【お知らせ】2025年度春期市民公開講座のお知らせ

P4 【患者さんからのご意見・ご要望】【編集後記】

【医学講座コーナー】春期市民公開講座に向けて

～肺がん治療の進歩について～

(呼吸器センター 北見 明彦 教授)

がん治療の進歩について

近年、肺がん治療はめざましく進歩しています。抗がん化学療法の発展により、IV期（脳や骨などに転移し、最も進んだ病期。俗にいう末期。）でも長生きできる患者さんの割合が増えています。またII期からIII期（がんが胸の中にとどまっており、他の臓器に転移がない状態）の肺がんにおいても手術や放射線治療などの局所療法に全身抗がん化学療法を加えることにより、治療後の再発率が減り、全体の治療成績（生存率）も改善してきています。

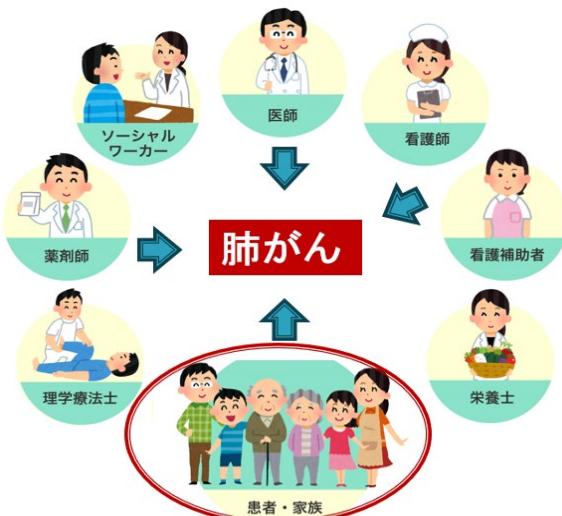
がん治療の治療成績

肺がんの治療成績は、ここ10年あまりで目まぐるしく向上していますが、その治療法は画一的なものではなく、個々の患者さんの年齢、全身状態、がんの組織型（腺がん、扁平上皮がん小細胞がんなど）により治療に用いる薬は異なります。たとえば、手術で摘出したがん病巣や生検組織（内視鏡等で採取するがんの一部）で遺伝子の発現状況を調べ、その患者さんもがんによく効く抗がん剤（専門的に分子標的治療と呼びます）を選択します。また、ノーベル医学賞受賞で知られる本庶 佑（ほんじょ たすく）先生の研究に端を発した免疫チェックポイント阻害薬は、肺がんのみならず多くのがんで使用され、抗がん治療の中心的役割を担っています。

一方、外科領域では、肺容量温存術式（肺区域切除）¹が標準化され、よりからだの負担の少ない手術が可能となり、またロボット支援下手術の発展により、胸の中でのより精緻な手術操作が可能となり、合併症の軽減につながると考えられます。

チーム医療について

医療の現場はより細分化、複雑化し、これらを統合した“チーム医療”という考え方が浸透しています。さらに最近では、患者さんは受け身ではなく、ご家族と共に、チーム医療の一端を担っていただくとい考え方方に変わりつつあり、治療に対する意思決定プロセスというものが、より重要視されています。図に、チーム医療の概念を示します。講演では、肺がん診療をとりまく医療現場の現状と、治療の最新トピックスをわかりやすく説明させていただきます。



¹腫瘍がある部分の「区域」を切除する手術のこと

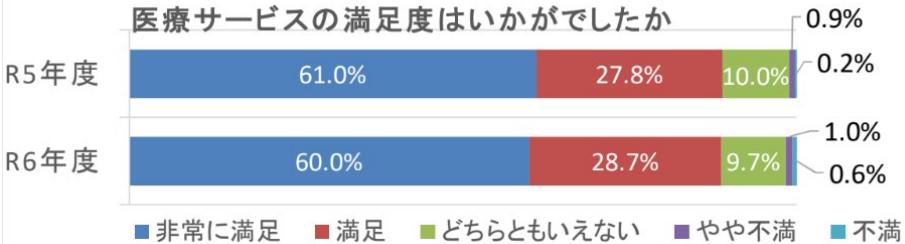
【お知らせ】患者満足度調査を実施しました

当院では、院内サービスの向上を目指して、提供されている院内サービスを患者さんがどのように感じているかを把握し、改善策を検討するために患者満足度調査を毎年実施しています。今回は外来患者さん 604 名、入院患者さん 518 名の方にご協力いただきました。ご回答いただいた皆様ありがとうございました。

今回の受診の満足度はいかがでしたか



入院中に受けた
医療サービスの満足度はいかがでしたか



詳しくはこちら

【お知らせ】2025年度春期市民公開講座のお知らせ

日 時：5月24日（土）13時00分～

開催方法：ハイブリッド開催（オンライン・対面同時開催）

開催場所：昭和医科大学横浜市北部病院 西棟4階講堂

予約は不要です！当日の飛び込み参加も大歓迎です！

「最近よく眠れない」「ロボット支援手術ってよく聞くけど、本当にうまくできるの？」気になった方、ご参加お待ちしております！

<第1部>

「肺がん治療の進歩

～免疫チェックポイント阻害薬からロボット支援下手術まで～」

〈演者〉呼吸器センター 教授 北見 明彦

<第2部>

「不眠症（睡眠障害）の対応の仕方」

〈演者〉メンタルケアセンター 教授 稲本 淳子



オンライン参加の際のURLは[こちら](#)です。

患者さんからのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答・改善等
雨の日ということもあるのかもしれません、西棟地下駐車場のB3FからB2Fへのスロープのところに、駐車している車が数台ありました。曲がってすぐのところに止まっていたので、ぶつかるかと思いました。	この度はご不便とご不安な思いをおかけし申し訳ありませんでした。当院駐車場ではスロープへの駐車を禁止しております、現在、各スロープに『駐車禁止』の掲示を行っております。駐車場をご利用の皆様には、平面の駐車スペースをご利用いただけますよう、ご協力ををお願いいたします。 (回答部署:管理課)
介護タクシードライバーです。中央棟地下3階、介護タクシー乗降場所の駐車スペースに、一般車両が止まっています。患者輸送に支障が出て困っています。対策願います。	ご不便をおかけし申し訳ございません。介護タクシーの駐車スペースであることが確認できるよう、壁面に『介護タクシー乗降場』の掲示をいたしました。貴重なご意見ありがとうございました。 (回答部署:管理課)
食事はやはり選択制が良いと思います。入院中の楽しみは食事に比重がかかります。食べて元気になる!必要だと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。当院では現在、給食用食材に関する納品ルート調整のため、一般常食選択メニューの実施を一時的に見合わせております。お食事を楽しみにされている入院患者さんには誠に申し訳ありませんが、近日中に再開できるよう尽力しておりますので、ご理解ご了承のほどよろしくお願いいたします。 (回答部署:栄養科)

編集後記

久しぶりに冬らしい冬が終わり、春が足早にやってきました。桜の開花も早目と予想されているようです。この冬は、寒さの影響か、入院、外来とも混雑することが多く、皆様にもご迷惑をお掛けする場面が多々あったと思われます。心よりお詫び申し上げます。

4月より昭和大学は昭和医科大学へ名称変更し、新たなスタートを切ります。今春多くの新人職員、新研修医が当院に着任します。昭和医科大学横浜市北部病院は地域の中核病院としてだけでなく、教育病院としての役割もあります。引き続き、彼らの教育にもご協力をお願いします。

(広報委員会委員長 緒方 浩顕)

北部病院だより 第202号(2025年4月1日発行)

発行責任者 坂下 晴子(昭和医科大学横浜市北部病院長)

編集責任者 緒方 浩顕(広報委員会 委員長)

発行 昭和医科大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』をご覧いただけます。

